

平成26年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A13	取組 名称	舞鶴市街地を赤煉瓦の景観にかえる取り組み
研究代表者： 公共政策学部 職・氏名 講師 杉岡 秀紀			
研究担当者： 京都府立大学：公共政策学部（青山公三、杉岡秀紀）、生命環境科学研究科（三橋俊雄） 研究協力者：森本隆（株式会社 DIYSTYLE）、土本章裕（一級建築士事務所ドモトワークス）、森下直哉（舞鶴市役所）  オブザーバー：有本夏希（舞鶴市役所）、瀬野祐太（京都丹波・丹後ネットワーク）、杉岡ゼミ生 ※敬称略、順不同			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
舞鶴市			
【研究活動の要約】			
<p>本研究は、平成25年に包括協定を締結した舞鶴市と本学の連携の一貫として取組まれるに至ったACTRの継続研究である。</p> <p>平成26年度は、本学の教員と舞鶴市内の「赤れんが」に関心の高い事業者、公務員、NPOスタッフ・杉岡ゼミ生（オブザーバー）による研究会「赤れんがまちづくり研究会」を継続開催し（月一回）、研究会内で議論を重ねつつ、ヒアリング調査及び先進事例調査（国内）、市民アンケート調査を行い、最終的に成果報告会にて広く社会に成果を報告した。</p>			
【具体的経過】			
（平成26年度実績）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月13日：第1回研究会（舞鶴） 今年度の活動方針の確認</li> <li>・ 8月13日：第2回研究会（舞鶴） 富岡製糸場視察報告</li> <li>・ 9月19日：第3回研究会（舞鶴） 松井功氏（松井理髪店）による話題提供</li> <li>・ 10月18日：第4回研究会（舞鶴） 三橋教授によるエコミュージアムについての話題提供、舞鶴赤れんがフェスタにて、アンケート・ヒアリング調査を実施</li> <li>・ 11月24日：第5回研究会（舞鶴） 瀬野祐太氏による話題提供。杉岡ゼミ生による赤れんがまちづくり条例案発表</li> <li>・ 12月7日：京都から発信する政策研究交流大会に出場。京都市長賞受賞</li> <li>・ 12月23日：第6回研究会（舞鶴） 谷川真司議員による話題提供</li> <li>・ 2月24日：成果報告会（舞鶴） 学生による、まちづくり政策・まちづくり条例の展示、QBB 赤煉瓦工房による販売・体験コーナーの設置、三橋教授によるミニ講義</li> </ul>			

## 【研究活動の成果】

研究成果については、以下のとおり。

- ①舞鶴地産地消赤れんが（OBB：Quick Built Brick）を活用した商材やキャラクターが完成した。
- ②赤れんがエコミュージアム構想を学生が提案し、政策コンペや広く社会に発信できた。
- ③赤れんがまちづくり条例案を研究会として完成させ、舞鶴市や広く社会に発信できた。

なお、成果報告会については全マスコミ（別紙）に取り上げられ、舞鶴市長にも直接お伝えすることができた。また学生チームは「京都から発信する政策研究交流大会」（主催：大学コンソーシアム京都）に出場し、本研究テーマをベースに政策提言し、京都市長賞を受賞した。

## 【研究成果の還元】

研究成果の活用については、以下のとおり。

- ①舞鶴地産地消赤れんが（OBB：Quick Built Brick）を活用した商材については、研究会メンバーであるDIY STYLEの商材としてすでに製品化され、販売されている。キャラクターについては、今後の研究会にて活用方法を検討する。
- ②赤れんがエコミュージアム構想については、今後提案の実現に向けて研究会でさらなる検討を重ねる予定。
- ③赤れんがまちづくり条例案については、成果報告会で頂いた意見も踏まえ、研究会で最終的な精査をし、舞鶴市（あるいは市議会）に公式に手交する予定。

【お問い合わせ先】 公共政策学部 職名：講師 杉岡 秀紀

Tel: 075-703-5332 E-mail: sugioka@kpu.ac.jp

## 参考（イメージ図、活動写真等）



研究会の様子（平成 26 年度）



舞鶴地産地消赤れんが（OBB）



政策研究交流大会（京都市長賞）の様子



成果報告会の様子（舞鶴市長と学生）